

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人鳥取県共同募金会

令和5年度 事業報告書

目次

【はじめに】	1
1 適切な組織運営	1
(1) 役員会等の開催	
ア 評議員会の開催	
イ 理事会の開催	
ウ 評議員選任・解任委員会の開催	
エ 配分委員会の開催	
オ 監事会の開催	
(2) 中央、ブロック会議等への参加	
(3) 市町村共同募金委員会との連携	
ア 担当者会議の開催	
イ 募金運動資材の調達	
2 募金活動の推進	6
(1) 募金目標額の設定と募金実績	
(2) 一般募金の取組み	
(3) 募金運動の期間拡大の取組み（つかいみちを選べる募金助成）	
(4) 税制上の優遇措置の取扱い	
3 寄付金による助成	7
(1) 助成決定	
(2) 歳末たすけあい運動	
ア 地域歳末たすけあい運動	
イ 第72回NHK歳末たすけあい運動	
(3) 本県出身のハンセン病療養所入所者へのお見舞い	
ア ハンセン病療養所の訪問	
イ 見舞金の贈呈	
(4) 災害見舞金の交付	
(5) 災害等準備金積立金取崩し金助成状況	
(6) 共同募金以外の寄付による助成	
ア 企業等からの寄付	
イ 中央共同募金会を通じた寄付（全国キャンペーン）	
① 赤い羽根 ウィズ・コロナ社会を支える全国キャンペーン 助成事業一覧	
② 生活困窮者への緊急支援活動全国キャンペーン 助成事業一覧	
(7) 助成事業の調査	

4	広報・啓発活動の推進	20
	(1) 初日行事・赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式の実施	
	(2) 郵便局窓口への募金箱の設置	
	(3) 新たなオリジナルキャラクターの制作	
	(4) 街頭募金の実施	
	(5) 「募金ボランティアの手引き」の作成	
	(6) 戸別配布用チラシの作成	
	(7) 報道機関へテレビ・ラジオスポット放映・放送の素材提供	
	(8) 地方新聞紙面への広告掲載	
	(9) 赤い羽根データベース「はねっと」の活用	
	(10) 助成結果の公表	
	(11) その他	
5	企業との連携強化	21
	(1) 自動販売機を活用した募金寄付	
	ア 自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置	
	イ 「鳥取県共同募金会支援自動販売機」の設置	
	(2) ANAによる募金箱の設置協力	
6	災害等準備金及び災害たすけあい運動	22
	(1) 災害等準備金の運営	
	ア 災害等準備金積立状況	
	イ 豪雨災害等に係る災害等準備金の拠出	
	(2) 義援金の取り次ぎと送金	
7	顕彰事業	23
	(1) 県共同募金会会長表彰	(2) 県共同募金会会長感謝
	(3) 県知事表彰	(4) 厚生労働大臣表彰
	(5) 中央共同募金会会長表彰	
8	民間資金助成事業への協力	23
	(1) (公財) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦	
9	調査研究等の実施	23
	(1) 中央共同募金会における「企画・推進委員会」の運営	

【はじめに】

「国民たすけあい共同募金」として昭和22年に社会福祉の復興から始まった共同募金運動は、本年度で77回目を迎えた。

その間、それぞれの時代に求められた福祉課題や地域福祉の推進のため、住民相互のたすけあいを基調に共同募金運動が展開されてきたが、募金方法や助成内容が固定化し、課題解決のための運動としての意識や取り組みが薄れ、寄付者からその実態が見えにくくなっているとも指摘されており、募金総額は平成7年(1995年)の約194百万円をピークに減少傾向が続いている。今後もこの傾向が続けば地域福祉の推進に必要な財源の確保が困難となるとともに、本会の健全運営が支障をきたすことも想定される。

毎年のように発生する大災害に備える災害等準備金制度は、被災地域での災害ボランティア活動を財政面から支援しており、その重要性は一層増大している。

地域における交流意識も弱まり、さらに新型コロナウイルス感染拡大による影響から人と人との交流が控えられてきたことを契機として、孤独感を抱える人の課題も浮き彫りとなっている。

こうした中、地域住民や地域の多様な主体が参画し世代や分野を超えてつながることで、人々の生活や地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現が強く求められている。本県では全国に先駆け「孤独・孤独を防ぐ温もりのある支え愛づくり推進条例」が令和4年12月に制定され、さらに国においても「孤独・孤立対策推進法」(令和6年4月施行)、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」(令和6年1月施行)、更には「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(令和6年4月施行)など、誰一人取り残さない社会の実現に向けて様々な施策が実施・検討されている。

令和3年4月に中央共同募金会に設置された「企画・推進委員会」において、共同募金運動の活性化、都道府県共同募金会における募金や助成に係る取り組みについての議論がなされ、このほど論点整理が公表された。その中では「新たな助成・募金・広報プログラム開発モデル事業」及び「県共募における助成・募金体制強化モデル事業」の2事業が中央共同募金会に寄せられた寄附金を財源として、3年間、総額210百万円の助成事業として実施されることとなり、本会としても運動の活性化と組織体制の強化に向け積極的に事業の提案したところである。

また、社会福祉法が求める法人経営のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化など、公益性・非営利性を確保することに留意しながら、県民に対する説明責任を果たし地域社会に貢献する社会福祉法人としての役割を果たしていく必要がある。

募金活動については、戸別募金や法人募金に取り組むとともに、中央共同募金会が主唱する全国キャンペーンにも参加して募金額の確保に努めたが、募金実績は113百万円余、目標に対し94.2%に留まった。

助成事業については、計画の一部変更などにも柔軟に対応しながら社会福祉協議会が行う様々な地域福祉活動、またNPO法人や団体等が行う地域福祉活動を支援した。

特に、中央共同募金会や全国の共同募金会と協働して実施した全国キャンペーンでは、困難を抱える人々に食料品や日用品を提供する緊急支援活動に対して助成を行った。

1 適切な組織運営

県民に対する説明責任を果たし地域社会に貢献する法人として、ホームページ等により経営組織・財務状況など情報の提供・公開を行い、事業運営の透明性確保、適正な会務運営に努めた。

また、現況報告書や財務諸表等の重要な情報については、所轄庁(県福祉監査指導課)を通じて、全国的なデータベース(WAMネット)に公開した。

(1) 役員会等の開催

ア 評議員会の開催【定数 26名】

【任期：令和3年6月28日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第217回 令和5年6月26日 出席 評議員16名 監 事 1名	1 令和4年度事業の報告及び決算(案)について 2 次期役員を選任について 3 次期配分委員会委員の選任について	原案のとおり承認 原案のとおり選任 〃
第218回 令和5年7月28日 出席 評議員17名 監 事 2名	1 令和5年度共同募金助成計画(案)及び目標額(案)について 2 令和5年度全国キャンペーンについて 3 令和5年度「つかいみちを選べる募金」助成事業取扱要領(案)について 4 令和5年度災害等準備金積立金取崩し金助成計画(案)について 5 配分委員会後任委員の選任について	原案のとおり承認 〃 〃 〃 原案のとおり選任
第219回 令和6年3月22日 出席 評議員14名 監 事 2名	1 令和5年度共同募金実績及び助成決定(案)について 2 令和5年度補正予算(案)について 3 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について	原案のとおり承認 〃 〃

イ 理事会の開催【定数 15名】

【任期：令和5年6月26日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第284回 令和5年6月9日 出席 理事 11名 監事 1名	1 令和4年度事業の報告及び決算(案)について 2 令和5年度定時評議員会の開催について 3 次期役員選任候補者について 4 評議員後任候補者の推薦について 5 評議員選任・解任委員会の開催について 6 次期配分委員会委員の選任について 7 鳥取県共同募金会長表彰の受賞者について	原案のとおり承認 〃 原案のとおり選任 〃 原案のとおり承認 原案のとおり選任 原案のとおり承認
第285回 令和5年6月27日 出席 理事 12名 監事 1名	正・副会長及び常務理事の選任について	選 任
第286回 令和5年7月20日 出席 理事 11名 監事 2名	1 令和5年度共同募金助成計画(案)及び目標額(案)について 2 令和5年度全国キャンペーンについて 3 令和5年度「つかいみちを選べる募金」助成事業取扱要領(案)について 4 令和5年度災害等準備金積立金取崩し金助成事業(案)について 5 第218回評議員会の開催について 6 配分委員会委員の選任について	原案のとおり承認 〃 〃 〃 〃 原案のとおり選任
第287回 令和6年3月14日 出席 理事 11名 監事 0名	1 令和5年度共同募金の実績及び助成決定(案)について 2 令和5年度補正予算(案)について 3 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について 4 評議員後任候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の書面開催について 5 第219回評議員会の開催について	原案のとおり承認 〃 〃 〃 〃

ウ 評議員選任・解任委員会の開催【定数 5名】

【任期：令和3年6月10日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
令和5年6月27日 【書面開催】	1 後任評議員の選任について	原案のとおり選任
令和6年3月22日 【書面開催】	1 後任評議員の選任について	原案のとおり選任

エ 配分委員会の開催【定数 11名】

【任期：任期：令和5年6月26日～令和7年6月25日まで】

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第1回 令和5年7月14日 福祉人材研修センター 出席 委員8名	1 委員長・副委員長の選任について 2 令和5年度共同募金助成計画及び助成計画に基づく目標額（案）について 3 令和5年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦について 4 ウィズ・コロナ社会を支える全国キャンペーン助成について 5 令和5年度NHK歳末たすけあいスケジュールについて 6 災害等準備金積立金取崩し金助成事業（案）について 7 令和5年度つかいみちを選べる募金助成事業取扱要領（案）について	選 任 原案のとおり承認 6 事業を推薦決定 原案のとおり承認 " " "
令和5年10月2日 及び10月5日 出席 委員8名	令和5年度NHK歳末たすけあい助成及び全国キャンペーンに係る申請団体実態調査（東部 3、中部 2、西部 4）	9 施設を訪問・調査
第2回 令和5年10月20日 上井コミュニティセンター 出席 委員9名	1 令和5年度「つかいみちを選べる募金」助成事業について 2 令和5年度NHK歳末たすけあい助成申請事業について	5 団体を承認 5 団体を承認
令和5年12月26日 福祉人材研修センター 出席 委員7名	令和5年度（第73回）NHK 歳末たすけあい助成式	5 団体に贈呈
第3回 令和5年12月26日 【書面開催】	1 令和5年度NHK歳末たすけあい助成申請事業について（第2次）	4 団体を承認
第4回 令和6年3月8日 福祉人材研修センター 出席 委員7名	1 令和5年度共同募金助成決定（案）について 2 令和6年度の共同募金運動（案）について	原案のとおり承認 "

オ 監事会の開催

【任期：令和3年6月25日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

開催日時等	監 査 事 項	結 果
令和5年5月23日 福祉人材研修センター 出席 監事2名	1 令和4年度業務及び予算の執行状況 2 令和4年度末における資産の状況	指摘事項なし 純資産の状況 56,204,583円

(2) 中央、ブロック会議等への参加

中央共同募金会が主催する会議に参加し、共同募金運動の一層の円滑な運営を図るための情報共有、意見交換に努めた。

また、児嶋会長が中央共同募金委員会における各県の共同募金会を代表する一人として評議員会に出席した。

【任期：令和3年12月15日から令和6年度の決算に関する定時評議委員会終結の時まで】

会 議 ・ 研 修	期 日	開催地	出席者	
中央会議	・中央共募第198回評議員会 ・中央共募第199回評議員会 ・中央共募第200回評議員会	6月21日 10月12日 3月5日	オンライン 書 面 欠 席	会 長
	・第1回都道府県共募常務理事・事務局長会議 ・第2回	7月13～14日 2月9日	オンライン	事務局長
	・第1回都道府県共同募金会職員研修会 ・第1回都道府県共同募金会職員研修会	4月25～26日 11月1～2日	東京都 欠 席	職 員
	第12回赤い羽根全国ミーティング 「じぶんの町を良くする仕組み」	7月3～4日	東京都	鳥取市 岩美町 三朝町
	赤い羽根データベース「はねっと」活用説明会	5月19日	オンライン	職 員 鳥取市 岩美町 若桜町 三朝町 湯梨浜町 大山町
	第1回都道府県共同募金会オンラインサロン 第2回	6月12日 10月6日	オンライン	職 員
ブロック 会議	・中・四国ブロック常務理事・事務局長会議 ・中・四国ブロック職員会議	11月21～22日 8月14～15日	高知県 香川県	事務局長 職 員

(3) 市町村共同募金委員会との連携

ア 担当者会議の開催

<第1回>

期 日 令和5年8月25日(金) 14:00~15:30

場 所 倉吉体育文化会館

出席者数 16市町村・16名

内 容 事業方針

- ・令和5年度共同募金運動実施について
- ・令和5年度共同募金助成計画・目標額について
- ・法人募金・職域募金に対する取組みについて

事務説明

- ・令和4年度「つかいみちを選べる募金」助成事業について
- ・災害等準備金取崩し助成事業について
- ・財務会計システムの運用について

報告事項

- ・第12回赤い羽根全国ミーティングに参加して
- ・不適切事案の発生・再発防止の取組みについて
- ・寄附と自治会費問題について
- ・県共同募金会長表彰及び感謝の受賞者について

意見交換

- ・コロナ対応について
- ・職員体制について
- ・共同募金委員会業務システムについて
- ・効果的な広報について

<第2回>

期 日 令和6年2月16日(金) 14:00~16:00

場 所 倉吉体育文化会館

出席者数 14市町村・15名

内 容 事務説明

- ・令和5年度の募金実績・助成決定(案)について
- ・年度替わりの事務作業について
- ・生活困窮者への緊急支援活動助成事業について
- ・防犯ブザーの頒布について
- ・会計業務点検結果と適正化のポイントについて

意見交換

- ・大量硬貨入金手数料と振込手数料について
- ・担当者会議のリモート化について
- ・災害義援金について
- ・郵便局窓口への募金箱設置に関する合意書締結について

イ 募金運動資材の調達

募金運動資材を次のとおり作成・購入し、運動の効果的な実施を図った。

目的別	資材名	数量	金額(円)
広報	ポスター	2,015枚	43,863
	壁新聞	479枚	14,370
	ステッカー・シール	1,410枚	27,440
計			85,673
運動啓発	チラシ	192,350枚	550,121
	ガイドブック・パンフレット	7,051部	62,100
	依頼状・委嘱状・募金封筒・領収書 など	49,825枚	451,679
	募金箱 など	239個	117,366
	ドラえもん組み立て式募金箱・ワッペン	11,394枚	180,768
計			1,362,034
返礼	赤い羽根	206,700枚	409,266
	募金バッジ(本会オリジナル)	4,600個	531,300
	ボールペン・クリアファイル など	4,685個	420,332
	プリペイドカート	376枚	229,546
	割りばし(本会オリジナル)	2,200膳	121,000
計			1,711,444
送料			119,916
合計			3,279,067

2 募金活動の推進

(1) 募金目標額の設定と募金実績

令和5年度は、目標額120,000千円(前年対比99.3%)を掲げ、戸別募金や法人募金に取り組むとともに、中央共同募金会が主唱する全国キャンペーンにも参加して募金額の確保に努めたが、募金実績は目標に対し113,074千円(94.2%)に留まった。

(単位:円)

種別	目標額	実績額	達成率	前年度実績額
一般募金	100,000,000	93,400,521	93.4%	98,106,439
地域歳末たすけあい募金	17,740,000	17,683,486	99.7%	18,060,468
NHK歳末たすけあい	2,260,000	1,994,925	88.3%	2,384,588
計	120,000,000	113,078,932	94.2%	118,551,495

(2) 一般募金の取組み

10月1日から実施した赤い羽根の共同募金運動は、昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり今年が第77回を数える。

助成計画及び募金目標額に基づき地域福祉活動を支援するための募金運動として展開するとともに、中央共同募金会が主唱する全国共通助成テーマとも協調しながら、地域課題である社会的孤立の解消に向けた募金活動を推進した。

また、市町村共同募金委員会での企業・会社訪問のほか、本会としても金融機関や一般企業に対して法人募金への協力を呼びかけた。

【全国共通助成テーマ】

「つながりをたやさない社会づくり ～ あなたはひとりじゃない ～」

(3) 募金運動の期間拡大の取組み（つかいみちを選べる募金助成）

共同募金運動の推進と活性化のため、平成28年度から共同募金の実施期間が10月1日から翌年の3月31日までの6か月間と定められた。

拡大された3か月の期間において、福祉課題を解決するため地域で活動している団体が、直接、その必要性を広く県民に訴え、助成先を選択して寄付をしていただく募金活動に、本会と協働して取り組んだ。

【取組内容】

運動期間：令和6年1月1日～3月31日

実施団体：県下全域で福祉活動を推進している非営利の団体

(単位：円)

団体名	募金事業名	申請額	実績額	助成額
(公社) とっとり被害者支援センター	犯罪被害者等支援事業	1,000,000	850,216	935,000
(特非) こども未来ネットワーク	子どもの笑顔発見プロジェクト2024	300,000	307,000	337,000
とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく”	こども食堂対象文化芸術体験事業	300,000	42,446	46,000
鳥取県腎友会	慢性腎臓病の予防の推進と慢性腎臓病患者への情報発信	300,000	344,000	378,000
(社福) 鳥取こども学園	おたべ食堂(地域食堂)	350,000	71,555	78,000
計		2,250,000	1,615,217	1,774,000

(4) 税制上の優遇措置の取扱い

租税特別措置法施行令に基づく税額控除に係る証明書(鳥取県知事通知)

[証明有効期間：令和4年6月17日～令和9年6月16日まで]

減税措置の周知

- ・募金ボランティアの手引きの作成
- ・企業向け説明資料、チラシの作成
- ・日本海新聞へ掲載(令和5年9月29日)
- ・本会ホームページへ掲載

3 寄付金による助成

市町村共同募金委員会に寄せられた募金額の70%を地域助成枠として助成し、残りの30%と本会の募金額を加えた額を広域助成枠として、助成計画に基づいて民間社会福祉施設や県域民間福祉団体に対し助成した。

(1) 助成決定

寄付金の助成は本会配分委員会に諮り、理事会並びに評議員会の承認を経て決定した。

(単位：円)

一般募金	広域助成 (福祉施設、県域団体、つかいみち、等)	10,483,000
	地域助成 (地域福祉活動、福祉施設、NPO、等)	61,012,645
	計	71,495,645
歳末たすけあい募金	地域歳末たすけあい助成	17,683,486
	NHK歳末たすけあい助成	2,330,000
	計	20,013,486
国会・市町村共同募金委員会運動経費		21,569,801
合 計		113,078,932

※ 助成金の執行残額の繰越

地域助成枠の決定に当たっては、令和5年度助成事業（令和4年度募金）が新型コロナウイルスの影響を受け一部事業の変更・中止などが生じたことから、それに伴う助成金の執行残額を次年度に繰越して使用することを可能とした。（総額 527千円）

(2) 歳末たすけあい運動

地域・NHK歳末たすけあいの運動を12月1日から1ヵ月にわたって実施した。

地域歳末たすけあい運動による寄付金の助成は、市町村ごとに、年末の時期に実施される地域・在宅福祉サービス事業に対し助成され、またNHK歳末たすけあい運動による助成については、施設利用者の文化活動等の充実のための事業へ助成した。

ア 地域歳末たすけあい運動

市町村共同募金委員会と市町社会福祉協議会等の団体が共催で12月31日まで実施し、これに支援・協力した。

実施市町：17市町村共同募金委員会・社会福祉協議会

イ 第73回NHK歳末たすけあい運動

NHK、NHK厚生文化事業団、中央共同募金会が主催し、国会、NHK鳥取送局、各銀行・農協・漁協・郵便局、他が窓口となって、12月1日から12月25日までの間実施し、9団体に対し助成した。

【助成式】

日 時：令和5年12月26日（火）

会 場：県立福祉人材センター

出席者：助成団体代表 5団体10名、NHK鳥取放送局 田中副局長、藤井副会長 ほか

内 容：目録の贈呈、お礼の言葉、情報交換会

【事業区分1】 文化活動のための物品購入・地域交流事業等 4/5以内 上限20万円 (単位:円)

NO	団体名	事業内容	経費内訳	
1	特定非営利活動法人 西部ろうあ仲間 サロン会 理事長 森田 忠正 (米子市両三柳)	【日本手話の収集及び保存を通じた 社会啓発活動促進事業】 日本手話(音声言語と異なる)の収集・保存活動を行うため、複数のろう者が会話をしている様子を収録・編集し研究に取り組む。研究内容を教材化し地域住民や学校での総合学習の場面で活用することで、ろう者の人権や日本手話について理解を深めることを目的とする。	デジタル一眼カメラ SDカード 外付けSSD	
			事業総額	助成額
			155,000	120,000

【事業区分2】 障がい児者・児童に対する支援事業 4/5以内 上限額20万円 (単位:円)

NO	団体名	事業内容	経費内訳	
2	特定非営利活動法人 たんぼぼ 理事長 瀧田 安代 (八頭郡八頭町)	【障がい就労のための農作業事業】 自主製品として農産物の生産に取り組み、収穫と工賃獲得の喜びを味わい、生きる力を育む。	刈払機 2台 一輪車 2台 支柱・杭・農具等	
			事業総額	助成額
			270,043	200,000

【事業区分3】 福祉団体や施設等の利用者の安心・安全のため緊急に実施しなければならない事業
4/5以内 上限50万円 (単位:円)

NO	団体名	事業内容	経費内訳	
3	社会福祉法人 手をつなぐ福祉会 かめの会作業所 理事長 小谷 輝美 (鳥取市商栄町)	【「かめの会作業所」除雪機配備事業】 降雪時、施設利用者が敷地内で安全に送迎車から乗降するため定時までには除雪を完了しなければならない。 しかし、当施設が所在する団地内には大型トラック等が頻繁に通行するため圧雪となり手作業での除雪は困難のため除雪機を整備する。	除雪機 1台	
			事業総額	助成額
			470,000	370,000
4	特定非営利活動法人 東伯けんこう 理事長 横山 明子 (東伯郡琴浦町)	【積雪時の利用者送迎の安全確保等のための 除雪機購入事業】 積雪の多い地方に所在する当施設は除雪機を保有していない。降雪時には早朝から職員がスコップ等で除雪作業を行うが利用者の送迎時間に間に合っていない。利用者を安心安全に迎えるため短時間で除雪できる除雪機を整備する。	除雪機 1台	
			事業総額	助成額
			338,000	270,000

5	特定非営利活動法人 伯耆みらい 理事長 梅原 久義 (西伯郡伯耆町)	【冬季（積雪時）にご利用者が安心して 利用するための事業】 当施設は相談支援事業を担っており、一般相談 においては電話相談対応だけでなく来所にての対 応も実施している。しかし、降雪時には通行難に より来所を躊躇したり、職員数が少ないため担当 職員が除雪作業を行わなければならない、相談時間 の確保に苦慮している。除雪機を整備することで 除雪作業を短時間で安全な状況にし、十分な相談 時間を確保する。	除雪機 1台
		事業総額	助成額
		413,860	330,000

令和5年度 NHK 歳末たすけあい助成事業一覧<2次>

【事業区分1】 文化活動のための物品購入・地域交流事業等 4/5以内 上限20万円 (単位:円)

NO	団体名	事業内容	経費内訳
1	社会福祉法人 敬愛会 皆生やすらぎの里あ おい 施設長 渡邊 愛子 (米子市皆生温泉)	【新しいレクリエーションを提供するための 用品購入事業】 入居者の認知症予防、フレイル予防のため身体 を動かすレクリエーションに、身体機能の影響が 少ないため利用者が参加しやすいパラスポーツの 「ボッチャ」を提供するため用具を整備する。	ボッチャ用コート、 ボールセット
		事業総額	助成額
		63,360	50,000
2	社会福祉法人 希望の 家 理事長 増井 壽雄 若竹の家 (倉吉市みどり町)	【利用者の活動充実促進のための事業】 余暇活動のための新たな空間づくりとして、ま た強度行動障がいがある利用者のクールダウンの 場所としてフロアマットを整備する。併せて、日 中活動（ワーク）に使用するブロック等の新規整 備と、長年使用し劣化の激しい運動用具を更新す る。	プレイランドマット ブロックセット、 グラウンドゴルフボール 等
		事業総額	助成額
		204,568	160,000

【事業区分3】 福祉団体や施設等の利用者の安心・安全のため緊急に実施しなければならない事業
4/5以内 上限50万円 (単位:円)

NO	団体名	事業内容	経費内訳
3	特定非営利活動法人 あかり広場 代表理事 渡部 恵子 (米子市皆生温泉)	【「オティアーノ3」券売機設置事業】 西部総合事務所2階に障がいのある人が働く食 堂「オティアーノ3」を開店した。利用者が安心 して働ける環境を整えるため券売機を設置す る。混雑するランチタイムには利用者・職員とも 負担が軽減でき、お客様へのサービス向上につな がる。	小型券売機、 導入設定費用
		事業総額	助成額
		599,500	470,000

4	特定非営利活動法人 のぞみハウス 理事長 浦島 一昌 (鳥取市青谷町)	【オープン設置事業】 就労事業の主力となっている焼き菓子の製造販売は2009年に整備したオープン3台を使用し製造しているが経年劣化により修理を繰り返し使用している。1台を新機種に更新することで利用者が安心して働け、所得向上を目指せる。	業務用オープン、 取替工事費用	
			事業総額	助成額
			399,300	310,000

(3) 本県出身のハンセン病療養所入所者へのお見舞い

ア ハンセン病療養所の訪問 (岡山県)

日 時：令和5年10月27日 (金)

会 場：長島愛生園、邑久光明園

参加者：事務局 1名

内 容：鳥取県が実施した「県民交流事業」に参加し見舞金を贈呈。

イ 見舞金の贈呈

贈 呈 先	本県出身者数	見舞金額 (円)
長 島 愛 生 園 (岡山県)	2名	20,000
菊 池 恵 楓 園 (熊本県)	1名	10,000
栗 生 楽 泉 園 (群馬県)	1名	10,000
多 磨 全 生 園 (東京都)	1名	10,000
合 計	5名	50,000

(4) 災害見舞金の交付

火災及び自然災害により住宅破損又は人的被害を被った県民に対し、市町村共同募金委員会を通じて見舞金を贈った。

(単位：千円)

市町村	全 焼		半 焼		全 壊		半 壊		死 亡		合 計	
	数	金額	数	金額	数	金額	数	金額	数	金額	数	金額
鳥取市	2	40			1	20	1	20			4	80
米子市	2	40									2	40
倉吉市	2	40									2	40
八頭町	1	20									1	20
若桜町	1	20							1	10	2	30
琴浦町	3	60									3	60
大山町	1	20							1	10	2	30
江府町	3	60	2	40							5	100
合 計	15	300	2	40	1	20	1	20	2	20	21	400

(5) 災害等準備金積立金取崩し金助成状況

ア 「安心・安全なまちづくり支援事業助成」防犯ブザーの贈呈事業

共同募金創設60周年を期して設定された全国共通配分テーマ「地域の安心・安全の暮らしを住民とともにつくる活動の支援」を継承し、「安心・安全なまちづくり支援事業助成」として、子ども達の防犯意識の芽生え・意識付けを目的に株式会社エフエム山陰と協働して鳥取県小学校長会、鳥取県特別支援学校長会へ防犯ブザー計4,500個を贈呈した。

また、併せて保護者向けチラシを作成し募金運動に対する理解と協力の推進を図った。

① 贈呈式

日 時：令和6年4月24日（水）

会 場：県教育長室

出席者：県教委 足羽教育長、山本体育保健課長

県 共 募 藤井副会長、相見配分委員長

F M山陰 小村代表取締役社長、村上鳥取支社長

② 防犯ブザー 計4,500個

(内訳) 鳥取県小学校長会 4,419個、鳥取県特別支援学校長会 81個

③ 助成額 952,875円

(6) 共同募金以外の寄付による助成

ア 企業等からの寄付

企業等から寄託された共同募金以外の寄付金の受入と助成を行った。

(単位：千円)

寄付者	寄付額	助成先	助成額	助成内容
篠原欣子記念財団 (子ども食堂への支援) [R5.10.20受入]	500	きりんのまち ・愛プロジェクト	50	【歴史と文化芸術に触れる体験事業】 謝金、印刷費 食材費(おにぎり弁当) 食材費(アイヌ文化料理)
		東郡家地区 まちづくり委員会	100	【ふれあいの里たから まちづくりランチひな祭り交流会事業】 一升炊き炊飯ジャー2台 桜餅・クレープ材料、祝菓子
		社会福祉法人 鳥取こども学園 「おたべ食堂」	100	【おたべ食堂7周年記念イベント】 食材費(野菜・肉・エビ等) 消耗品、衛生用品(消毒液等)
		とものいえ食堂	50	【手作りみそワークショップ・電子レンジ整備】 オープンレンジ 1台 大豆・麴・容器等
		一般社団法人 みんなの実家	100	【みなよし食堂におけるキッチン周辺、憩いの場の整備】 棚制作材料 (塗装集成材・棚柱・ビス等 芝刈機類)
		ほっとここ	50	【子ども食堂とみんなの居場所】 一升炊き炊飯ジャー 1台 二升炊き炊飯ジャー 1台 フードプロセッサー 1台
		事務費	50	

イ 中央共同募金会を通じた寄付（全国キャンペーン）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて顕在化した課題に取り組む活動を支援したいとして、中央共同募金会に寄せられた寄附金を原資として、全国の共同募金会が協働して取り組んだ。

団体名	受入日	主な用途	原資	内訳(千円)		助成件数
				助成額	事務費等	
日本中央競馬会 (JRA)	R5. 2. 17	① パンデミックの影響を受けて顕在化した課題に取り組む活動	4,300	3,750	事務費 430 災害積立金 120	12
	R5. 9. 15	② 生活困窮者に対する相談等を行う際に、アウトリーチや支援に繋がるきっかけづくりのツールとして、来所時に緊急的に配布するための食料品や日用品の整備等に要する経費	1,716	1,560	事務費 156	8
合計			6,016	5,310	706	20

① 赤い羽根 ウィズ・コロナ社会を支える全国キャンペーン 助成事業一覧

法人名	事業(活動)の名称	総事業費	助成額(千円)	内容
特定非営利活動法人 YSS だいせん 〔就労継続支援B型事業所〕	感染症対策構築事業	279	270	<p>利用者と弁当やお菓子の製造・販売を行っているが、利用者、職員の感染症対策を可能な限り高め、少しでも安心して働けるよう以下の感染症対策を講じたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非接触カメラ付き検温機&スタンド付きディスペンサー 1台(現在は手動) ・サーキュレーター 2台(受託作業室、休憩室) ・空気清浄機 2台(受託作業室、休憩室)
特定非営利活動法人 鳥取県障害者就労事業振興センター	「ワークコーポとっとり」(共同作業場)の感染症対策事業	205	200	<p>ワークコーポとっとり(共同作業場及び共同受注窓口)では、コロナ対策としていち早く非接触の検温機(手の平)を設置したが、感度が悪く、働きに来る障がい者、職員、来所者の検温に苦慮している。</p> <p>そのため、新たに検温と消毒が一体化した機器を設定するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非接触カメラ付き検温機&スタンド付きディスペンサー 1台

<p>特定非営利活動法人 フェリース</p> <p>〔就労継続支援A・ B型事業所〕</p>	<p>フェリース感染 症対策事業</p>	<p>424</p>	<p>420</p>	<p>就労継続支援A型(20人)・B型(20人)事業所を運営し、主な事業はフルーツショップ、Ciao〔チャオ〕ジェラートと飲食店、他に軽作業、施設外就労(鳥取城北高校給食)を行っている。</p> <p>店舗の当面の衛生管理設備等の整備は、JKAの補助金を得て行ったが、以下のとおり一層の業務の効率化と感染予防対策を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートWEB研修促進：ノートパソコン(カメラ付き) 1台 <p>現在は職員の個人所有のものを使用しているが、職員の質の向上を図るためにも新たにパソコンをも整備し複数職員の参加を可能にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機 2台 <p>店舗内にはあるが、作業室にはないため新たに設置する。</p>
<p>社会福祉法人祥和会</p> <p>〔就労継続支援B型 事業所〕</p>	<p>エアコンの更新 事業</p>	<p>1,150</p>	<p>500</p>	<p>セルプひのには1フロア(約100平米)に事務所と多目的室があり、そこに約20年前に設置した大型の天井吊型エアコンがある。本年1月頃より時々エラーメッセージが表示され、暖房が効かなくなることがあったため、修理を依頼したが、古いエアコンであり今回修理してもすぐに別の箇所が故障するだろうと、新しいエアコンに更新するように勧められている。</p> <p>新型コロナの分類が変更された後も感染力の高さに変わりはなく、重症化リスクの高い利用者等への感染を防ぐためにも室内の空気環境を清浄に保つことが必要であり、新たなエアコンへの更新が喫緊の課題となっている。</p> <p>多目的室は利用者の食事の場や休憩室としても利用しており、エアコンを更新することにより、常に適温の環境でサービス提供が可能となる。また、事務室が快適になることにより、支援員や事務職員の事務作業の効率化も図られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井吊型エアコン 1台

<p>下私都地区 まちづくり委員会</p>	<p>「一人暮らし高齢者等の孤食・孤立を防ぐ地域交流食堂」事業</p>	<p>260</p>	<p>200</p>	<p>コロナ禍にあつては、友人同士や集落活動などで会食する機会がなくなり、調理の手間や食欲の減退により簡素な食事となる傾向の高齢者、特に一人暮らし高齢者を中心に、栄養バランスの取れた食事ができているかが懸念される。</p> <p>そこで、地区内に住む一人暮らしや、昼間家族が不在のため昼食を一人でとっているであろう高齢者をはじめ、多様な参加を募り、食事会を開催し、会食による交流および栄養バランスの取れた食事の提供・推進を図る。</p> <p>事業実施に当たっては、本助成金を食事提供に必要な物品の購入や食材購入の経費として活用したい。</p> <p>また、食後は血圧や心拍数が上昇しやすく、その場で体調不良となってしまう場合に備えるため、簡易ベッド・目隠し用パーテーションも備え付け、併せて活動拠点の充実化を図る。</p> <p>《事業計画》 毎月第3木曜日、11：30～12：30 (月1回程度) 食事会実施</p>
<p>社会福祉法人 鳥取こども学園</p>	<p>おたべ食堂</p>	<p>500</p>	<p>500</p>	<p>コロナ禍で会食の形で食堂が開けなかったため、令和2年2月から感染症対策として弁当配布の形態で行ってきた。</p> <p>今後の形態については、本年5月から5類に移行したことも踏まえ検討中だが、これまで弁当を配布することとしていたこともあり、利用申込が増加し開催回数を月1回から月2回に増やして対応してきたところである。そのため食材費が大幅に増加し今後の運営資金の確保に苦慮しているところである。</p> <p>・食材費 @500円×120人×9月(2回/月)</p>

<p>特定非営利活動法人 さくらんぼ</p> <p>(放課後等デイサービス、生活介護等)</p>	<p>新規利用者獲得に向けた利用者 の安全確保を図るための防犯対策事業</p>	<p>605</p>	<p>500</p>	<p>コロナ禍により新規利用者数が減少するとともに、利用キャンセルも増加したことにより令和2年度以降の収益は大幅に減少した。</p> <p>本年5月からの5類移行を受け新規利用者の確保に向け、安全で安心して施設を利用していただくため、施設の更なる安全対策・防犯対策を徹底する。</p> <p>【緊急整備の必要性】</p> <p>本年6月12日午後3時過ぎ、当法人施設内の物置に不審者が侵入し110番通報により警察に確保された。</p> <p>これは、①利用者〔児童〕が下校後に来所する時間帯と重なり玄関が開錠したままであったこと ②事務室から玄関を確認する覗き窓がないため職員が玄関へ移動しなければ来所者を確認できない構造となっているため、誰にも気づかれることなく侵入することが可能であったこと、が主な原因と考えられる。</p> <p>結果的に、利用者・職員とも無事であったが、防犯対策の専門家の助言も得ながら一層の安全対策・防犯対策を講じることとし、事務室からの開閉錠できるようにするとともに、現在設置の防犯カメラ3台に加え、防犯カメラ2台、カメラ付きインターホン2台を増設する。</p>
<p>社会福祉法人 ふれあい (岩井長者寮)</p>	<p>ふれあい祭り開催事業</p>	<p>205</p>	<p>200</p>	<p>当施設では毎年、ふれあい祭りを開催し、入寮者と地域の住民や子供たちとの触れ合いの場を提供してきたが、コロナ禍により3年間、中止を余儀なくされてきた。</p> <p>同様にコロナ禍で、岩井地区のゆかむり唄保存会も演技を披露する場を失っていたことから、このたび当施設と保存会とが協働して4年ぶりにふれあい祭りとし開催することとなった。</p> <p>ゆかむり唄保存会の会員・子供たちにふれあい祭りの場で演技を披露してもらうにあたり、以前は秋に開催していたものを子供たちが参加しやすい夏休み期間に開催することとし、暑さ対策として屋内での開催とした。</p> <p>従来は屋台形式の出店により交流を図ってきたが、屋内開催であることとコロナ対策を徹底するため、屋台の雰囲気を出しつつ焼き鳥やおでんを容器により提供することとした。また、子供たち</p>

				<p>にはフルーツパイキング等の提供も行いたい。</p> <p>お祭りの雰囲気を出すことで、コロナ禍により途絶えていた地域住民や子供たちと入寮者との交流が打ち解けたものとなり、お年寄りが喜ぶ様子を見て、伝統芸能の良さと地域に保存し続けることとの大切さを、地元の子供たちに再認識してもらおう一助としたい。</p>
鳥取県民主医療機関連合会	<p>新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、生活に困難を抱える人たちを支援する食糧支援活動「食料無料市」 【食材購入】</p>	600	200	<p>コロナ禍の影響を受けた様々な世代を応援するとともに「困っている」と自ら発信しない・できない人たちと繋がり、孤立させない手立てとして令和3年12月から、コメなどの主食の食材セットと野菜などの食料を配布する「食料無料市」を、県内の公営住宅の住民を対象に展開してきた。</p> <p>今後も、産直店舗や購買生協、農家などから食材の提供も受けながら、ひとり親や低年金高齢者、老々介護の世帯などを対象に食材を届ける活動を継続するため、コメや乾麺、野菜などを購入する経費に対し助成していただきたい。</p> <p>【その他の財源：自己財源 300 千円、寄付等 100 千円】</p>
<p>特定非営利活動法人 さざなみ作業所</p> <p>〔就労継続支援B型事業所〕</p>	<p>感染症対策のための機器整備事業 【衛生設備整備】</p>	366	360	<p>令和4年度に設置後29年を経過した一階部分の空調機器（エアコン）の更新に対して助成を受けたが、このたびは2階の同様に経年劣化している機器について助成していただきたい。</p> <p>既に修理のための部品がメーカー側になく、適切な維持・管理も不可能な状態となっている。</p> <p>・(天井据付型)エアコンの更新</p>
船岡地区まちづくり委員会	船岡地区住民親睦球技大会	218	200	<p>コロナ禍により各種行事への参加を控えていたため、体力の衰えを感じて当委員会が行う健康体操への参加を躊躇するなど、自宅に閉じこもりの高齢者が増えている。</p> <p>そのため地域全体の健康増進、高齢者の孤立防止を目的に、得意・不得意の関係なく参加できるグラウンドゴルフやボッチャなどの運動を行う。</p> <p>・グラウンドゴルフセット 一式 ・ボッチャセット 3セット ボランティア行専用保険</p>

鳥取おやこ劇場	親子のための人形劇の鑑賞事業	242	200	<p>コロナ禍では、舞台芸術鑑賞は「不要不急なこと」とされ様々な制約があり、全く開催出来ない期間が約半年、その後も密集しない・隣り合う席は1つ空ける・マスク着用・静かに観る、などたくさんの制約のもと窮屈な鑑賞会（親子が席を空けて鑑賞、楽しさも怖さも共有できない）しか持てなかった。</p> <p>5類に変更されようやく状況も落ち着いてきたことから、感染防止対策に配慮しながらも、親子または友達同士が、人形劇を鑑賞することで生まれるあらゆる感情を共有し、語り合い、いつまでも心に残る体験となる機会を提供したい。</p>
合 計		5,054	3,750	

② 生活困窮者への緊急支援活動全国キャンペーン 助成事業一覧

法人名	事業（活動）の名称	総事業費	助成額（千円）	内 容
南部町 社会福祉協議会	生活困窮者を対象とした相談事業及び食糧配布事業	102	100	<p>自立支援機関に繋がった生活困窮者に対し緊急的に必要と判断した場合、迅速に必要な食料品や日用品を提供することができるよう、缶詰やレトルト食品などを購入する。なお、自立支援機関の相談に繋がらない要支援者への訪問時にも持参する。</p>
米子市 社会福祉協議会	米子市フードパートナー事業	281	240	<p>「コロナ特例貸付」の償還が今年1月から始まっているが、様々な理由でコロナの影響から立ち直れない世帯も多く、償還の猶予や少額返還への変更相談などが増えている。</p> <p>特に償還猶予の場合は、定期的に面談を受ける必要もあり相談者の負担も増えるが、その世帯に潜在している本当の課題が見えてくることも多く、新たな繋ぎ先を紹介できるケースもある。</p> <p>支援のためには困窮世帯の状況を丁寧に聞取っていくことが大切であり、そのきっかけづくりのため米、缶詰、レトルト、トイレットペーパー、ティッシュ、洗剤などの食品や日用品の提供を行いたい。</p>

米子医療生活協同組合	食料無料市	150	100	<p>「食料無料市」として公営住宅を中心に米、缶詰、インスタント食品などを提供するとともに、生活実態アンケートを実施し、支援が必要な者に対しては個別に面談・電話相談して医療や福祉サービスへ繋げている。</p> <p>今後、3月に予定しており開催に必要な経費の一部を助成していただきたい。</p>
岩美町 社会福祉協議会	生活困窮者支援のための食糧等整備事業	120	120	<p>生活困窮者対策の一環として、地域住民の協力を得て食料品提供者（フードパートナー）として登録いただき、金銭的に困窮し食料品に困っている方に対し、緊急的な食糧支援を行っている。</p> <p>食料品の提供は主に米であることから、適切に保管できる設備を整備するとともに、缶詰、レトルト、水等を購入し緊急支援に備えることとしたい。</p>
八頭町 社会福祉協議会	生活困窮者と食でつながろう事業	301	300	<p>生活困窮者等に対し必要に応じて支援計画を基に伴奏支援を行い、他機関との連携やつなぎ、他事業や制度を活用しながらの支援を展開している。</p> <p>生活困窮者等との関係づくりや支援のきっかけづくりのため、対象者宅への訪問時や来所時などに提供する食料品等を購入するとともに、冷蔵品や冷凍品などを長期保存するための冷蔵庫を整備したい。</p> <p>また、支援者との関係づくりのために行う調理に使うオープンレンジをあわせて整備したい。</p>
境港市 社会福祉協議会	生活困窮者のライフライン確保支援体制整備事業	560	500	<p>「生活福祉資金貸付事業」や「生活困窮者自立支援事業」等により、低所得世帯個々の状態に応じた経済的自立・安定した生活への援助・支援を実施しているが、公共料金の支払いを滞納していることから電気・ガス・水道等のライフラインが停止に追い込まれ、緊急支援としてポータブル発電機・カセットコンロ・炊飯器・飲用水の貸与や支給が必要となる事例も少なくない。</p> <p>さらにフードエイド事業の食品を長期間保管するための冷蔵庫を整備することにより、プッシュ型支援の充実・強化を図りたい。</p>
湯梨浜町 社会福祉協議会	生活困窮者を対象とした食料配布事業	100	100	<p>生活困窮者に対するフードサポート事業として、食べるものにも困り緊急性のある対象者に、町民から食べ物の寄附を募りお渡し生活のサポートを実施している。</p> <p>今後とも、緊急的に対応することが必要と判断される生活困窮者に対し、迅速に必要な食料品や日用品を提供することができるよう、米や缶詰、レトルト食品などを購入する。</p>

鳥取県 社会福祉協議会	生活困窮者を対象 としたフードド ライブ・生活必需品支 援事業	104	100	生活困窮者支援の観点から、また就職や進学などの社会活動が活発となる年度末・年度初めに緊急的な対応が必要となることが想定されることから、生活困窮者相談支援機関に対する食糧支援、生活用品（生理用品や幼児用オムツ等）援助を目的とする。
合 計		1,718	1,560	

(7) 助成事業の調査

NHK歳末たすけあい助成及び全国キャンペーン助成を決定するに当たり、申請内容について現地においてヒアリングを行い、事業計画の必要性の確認、緊急性等の把握などに努めた。

現地調査：令和5年10月2日及び10月5日

調査対象：9団体（東部 3、中部 2、西部 4）

4 広報・啓発活動の推進

共同募金運動の趣旨の理解を得るため、開始にあたっての広報、寄付金の使途についての周知等、年間を通じて広報活動に努めた。

(1) 初日行事・赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式の実施

日 時：令和5年10月1日（土）10:30～11:00

場 所：倉吉パープルタウン

内 容：ANA（全日本空輸(株)）の協賛、倉吉市共同募金委員会との協働により「第62回赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式」を開催し、厚生労働大臣、中央共同募金会長のメッセージの伝達を受けた。

(2) 郵便局窓口への募金箱の設置

郵便局内に募金箱を設置し、共同募金運動に協力することを目的とした合意書を、因幡地区の9郵便局及び鳥取中央郵便局と締結した。

設置期間：令和5年12月1日～令和6年3月31日

設置郵便局：鳥取中央、東町、本町、立川、大正、湖山北、美穂、吉岡、国府宮ノ下津ノ井の10郵便局

募金実績額：36,019円

その他：募金箱を設置しない137郵便局（因幡地区連絡会46局、伯耆地区連絡会91局）については、ポスターやチラシを設置するなど広報等に協力した。

(3) 新たなオリジナルキャラクターの制作

新進気鋭のイラストレーター『伊吹春香』氏に依頼し、広報の場面で活用するイメージキャラクターを新たに作成しポスターに活用するなど今後、様々な媒体・グッズを製作し共同募金運動の広報に使用する。

(4) 街頭募金の実施

初日行事に引き続き、鳥取市共同募金委員会とともに倉吉パープルタウン及び新あじそうパープル店において街頭募金を実施した。

各市町村共同募金委員会においても、感染対策にも配慮しながらコロナ禍前と同様に街頭募金活動を実施した。

(5) 「募金ボランティアの手引き」の作成

地域での募金ボランティアに対し共同募金運動の趣旨、運営、組織、使いみち、税制上の優遇措置について理解促進のため、要点をまとめた手引きを作成し配布した。

作成部数 3,650部

(6) 戸別配布用チラシの作成

「令和4年度共同募金結果報告・令和5年度募金依頼」チラシを作成し、県内各世帯に配布した。また、裏面には各市町村共同募金委員会が募金計画、地域福祉事業助成金の使途状況を掲載し、募金運動の理解が一層進むよう努めた。

作成部数 192,350部

(7) 報道機関へテレビ・ラジオスポット放映・放送の素材提供

中央共同募金会が作成した広報資材を各報道機関へ提供するとともに、報道機関（テレビ局7社、ラジオ局1社）、県遊技業協同組合に対し放映・放送の協力を依頼した。

(8) 地方新聞紙面への広告掲載

共同募金運動の普及、助成の公表並びに県民への幅広い呼びかけを行うため、日本海新聞に広告を掲載した。

令和5年4月29日 令和4年度共同募金へのお礼並びに実績報告（全5段広告）

令和5年9月29日 新日本海新聞社の協力による協賛による広告掲載（全5段広告）

令和5年度共同募金運動への協力依頼

令和5年度共同募金目標額、助成事業紹介など

(9) 赤い羽根データベース「はねっと」の活用

共同募金会助成金の活用事例や助成事業について、写真や受給者からの感謝のこぼなどを掲載し、寄付者等に対する情報公開に努めた。

(10) 助成結果の公表

被助成施設・団体に対してPR活動並びに運動への協力を要請するとともに、寄付金助成により事業を実施したことの公表及び表示の徹底に努めた。

・赤い羽根共同募金助成表示・周知について「助成表示要領」の配布

・赤い羽根シール等助成表示資材の配布

(11) その他

・ホームページにおいて助成申請の案内、募金実績の報告、税制上の優遇措置などを広報

・県庁前電光掲示板への広報掲示

・各市町村社会福祉協議会発行の広報紙へ運動結果等を掲載

・共同募金ポスターパネル、募金箱等の貸出

・助成式等に使用する「バックパネル」を製作

5 企業との連携強化

(1) 自動販売機を活用した募金寄付

ア 自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置

設置台数：4台（福祉人材研修センター、小波浜自治会、ビーハート中海営業所、大山ガーデンプレイス）

募金実績：71,395円（令和4年11月～令和5年10月）

イ 「鳥取県共同募金会支援自動販売機」の設置（株式会社戸信）

売上げの一部が寄付となる共同募金会支援機能付き自動販売機を設置

設置台数：8台（鹿野町総合福祉センター、(株)清水、倉吉福祉センター、稲葉山地区
公民館、生涯学習センター(2)、城北地区公民館、豊美地区公民館）
募金実績：66,075円

(2) ANAによる募金箱の設置協力

ANA（全日本空輸(株)）の協力により、鳥取・米子空港及び空港内店舗に募金箱を設置するとともにポスターを掲示し、共同募金運動の広報に努めた。

(単位：円)

協力企業名	金額
全日本空輸株式会社鳥取空港所	—
全日本空輸株式会社米子空港所	401
ANAFESTA株式会社鳥取店	—
ANAFESTA株式会社米子店	1,795
計	2,196

6 災害等準備金及び災害たすけあい運動

(1) 災害等準備金の運営

募金実績の3%を3年間積み立て、災害救助法が適用される大規模災害の発生に対応した。
なお、準備金は4年目に取崩し助成要綱に基づく事業に助成する。

ア 災害等準備金積立状況

令和5年度積立額 3,380,000円
令和4年度末総積立額 7,900,000円(令和2年度～令和4年度積立分)

イ 豪雨災害等に係る災害等準備金の拠出

令和5年台風7号により被災した鳥取市に設置されたボランティアセンターの運営費の一部として助成するとともに、令和6年能登半島地震の被災地支援のため全国の共同募金会と協働し中央共同募金会を通じて拠出した。

災害名	拠出先	拠出額(円)
令和5年台風7号	鳥取市	306,987
令和6年能登半島地震	中央共同募金会	2,693,013

(2) 義援金の取り次ぎと送金

大雨等の自然災害による義援金の募集に応じ、市町村共同募金委員会を通じて義援金の取りまとめと被災県への送金を行った。

(単位：円)

義援金名	金額
令和5年5月 能登地方地震災害(石川県)	181,400
令和5年6月 和歌山県台風第2号災害	
令和5年6月 山口県大雨災害	
令和5年7月 島根県大雨災害	
令和5年9月 福島県台風第13号災害	
令和6年1月 能登半島地震災害	6,975,155
合計	7,156,555

7 顕彰事業

共同募金会事業に功績のあった者に対し表彰状等を贈呈した。

- (1) 県共同募金会会長表彰
奉仕功労者（5名）
宮邊 博氏、外園 至氏、安達好孝氏、足立勝美氏（以上、境港市）
協力団体・地区（2団体）
県立倉吉東高等学校、社会福祉法人親誠会 ケアハウスひまわり昭和町、倉吉市精神障がい者家族会（以上倉吉市）
- (2) 県共同募金会会長感謝
個人（11名）
小林一晴氏 ほか
団体（2社）
鳥取ガス(株)、鳥取ガス産業(株)
- (3) 県知事表彰（1団体）
共同募金運動奉仕功労団体 社会福祉法人あゆみ会 トーゲン倉吉（倉吉市）
- (4) 厚生労働大臣表彰（1団体）
共同募金運動奉仕団体 成徳地区民生児童委員協議会（倉吉市）
- (5) 中央共同募金会会長表彰
共同募金運動奉仕者・団体 灘手地区民生児童委員協議会（倉吉市）

8 民間資金助成事業への協力

- (1) (公財) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦

交付枠：6,710千円 助成成件数：6団体

(単位：千円)

法人・施設名	内 容	推薦額	決定額
社会福祉法人養和会 エポック翼	小型除雪機の購入	340	340
社会福祉法人青谷福祉会 なりすな	超低床ベッドの購入	1,070	1,070
社会福祉法鳥取こども学園 はまむら作業所	送迎車両の購入	2,010	2,010
社会福祉法人真誠会 真誠会セントラルローズガーデン	送迎車両の購入	1,000	1,000
社会福祉法人鳥取県厚生事業団 羽合ひかり園	送迎車両の購入	1,000	1,000
特定非営利活動法人 スペル	貨物車両の購入	1,290	1,290
計		6,710	6,710

9 調査研究等の実施

- (1) 中央共同募金会における「企画・推進委員会」の運営

中央共同募金会に設置された「企画・推進委員会」において、共同募金運動の活性化、都道府

県共同募金会としての募金や助成に係る取り組みについての議論がなされ、中央共同募金会に寄せられた寄附を財源として、3年間、総額210百万円のモデル事業として実施されることとなった。

本会としても、共同募金運動の活性化と共同募金会の機能強化に取り組むべく事業を提案したが、一件が不採択となった。

事業区分	事業名	申請額	審査結果
新たな助成・募金・広報プログラム開発モデル事業	オリジナルキャラクターを活用した新たな広報事業	1,000万円	不採択
県共募における助成・募金体制強化モデル事業	赤い羽根パートナーと創る新たな助成事業	200万円	採 択